

安全



安心

JAL不当解雇撤回ニュース

No265 号 2013.04.03
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekai.co>

届け！ 証人採用嘆願はがき

申請した証人全員を採用し、公正な 審理を行うよう高裁に要請します

JAL 整理解雇撤回裁判の状況は、5 月 23 日の第 3 回乗員口頭弁論、5 月 31 日の第 3 回客乗口頭弁論を控え、準備書面の作成・提出と証人採用の準備をしております。証人に関しては、乗員裁判で 7 名、客乗裁判で 5 名の申請を行い、整理解雇 4 要件、不当労働行為などを明らかにしていきます。

今後の裁判進行は、双方の主張や証拠等が出尽くしたうえで、証人尋問へと移ります。現在の進行状況からみて、申請した証人の採否については 4 月末に一定の方向性が示され、5 月の口頭弁論で確定する見通しです。こうした状況に対応し、「申請したすべての証人の採用を求める嘆願はがき」に取り組みます。緊急な取り組みとなりますが、はがきが到着したい直ちに組み、4 月 26 日には裁判所に届くよう投函をお願いします。

客乗訴訟 大竹たかし裁判長宛て

すべての証人の採用を求める嘆願書

私は、貴東京高等裁判所第 5 民事部に控訴中の日本航空整理解雇事件、平成 24 年(ホ)3458 号の控訴人内田妙子ほか 70 名の支援者です。

日本航空は、経営破綻を口実に 165 名の客室乗務員とパイロットから空を飛ぶ仕事を奪う必要のない解雇を行いました。また、組合つぶしを狙った解雇の人選基準では、年齢の高い者や病欠欠勤履歴のある者を対象にしており、ILO、ITF をはじめ外国の団体からも不当な解雇であるとして勧告や声明が出されています。

こうした中、貴裁判所のご判断は大変重要であり、世界中から注目されています。

つきましては、必要のない解雇で働く権利を奪われた控訴人が、一日も早く職場に復帰できるように、慎重で公正な審理が尽くされるべく申請された 5 名の証人の採用がなされることを強く希望いたします。

パイロット訴訟 三輪和雄裁判長宛て

すべての証人の採用を求める嘆願書

私は、貴東京高等裁判所第 24 民事部に控訴中の日本航空整理解雇事件、平成 24 年(ホ)3123 号の控訴人山口宏弥ほか 69 名の支援者です。

日本航空は、経営破綻を口実に 165 名のパイロットと客室乗務員から空を飛ぶ仕事を奪う必要のない解雇を行いました。また、組合つぶしを狙った解雇の人選基準では、年齢の高い者や病欠欠勤履歴のある者を対象にしており、ILO、IFALPA をはじめ外国の団体からも不当な解雇であるとして勧告や声明が出されています。

こうした中、貴裁判所のご判断は大変重要であり、世界中から注目されています。

つきましては、必要のない解雇で働く権利を奪われた控訴人が、一日も早く職場に復帰できるように、慎重で公正な審理が尽くされるべく申請されたすべての証人の採用がなされることを強く希望いたします。

お手元に「嘆願はがき」が届きましたら、早目の投函をお願いいたします。